

草の根技術協力事業

.....
日本の教育がブラジルの教育の質向上
埼玉県教育の国際化

事業概要

参加者: 埼玉県

埼玉県教育局・埼玉県内小中高

相手国: ブラジル

LFC（ブラジルNGO）×LFCが運営するUPI

LFC=NGO団体、ブラジル全土で社会教育活動を展開

UPI=LFCが運営する貧困層の児童向け学校

協力内容：UPI教員を埼玉県小中高へ招聘。

UPI教員の為に指導マニュアル作成。

埼玉県の教員がブラジルの施設を訪問し、
継続して日本の教育技術を伝える。

埼玉県の背景・取り組み



- 県内で増加する外国人生徒のために教育行政や教育機関の国際化を目指す。
- 国際化社会に対応できる教員・生徒の育成に力を入れる。
- 日本で常識とされている教育が途上国では常識ではなく、教育の質を向上させる。

ブラジルの課題と成果

課題 子供たちの基礎学力・職業訓練が不十分
取り組み 指導マニュアルや埼玉県の学校訪問を通して日本の教育現場について学び、ブラジルで活かす。

課題 犯罪の多さ・親の教育への無関心
取り組み 埼玉県の道徳教材を施設の親、生徒に提供したところ、親が子供の教育・生活に関心を示し、家庭環境の向上が犯罪減少につながる。

成果

貧困層児童の教育水準向上への一翼を担う

埼玉県への波及効果



埼玉県の教育の国際化

・埼玉県教育局（教育委員会）は変化の激しい社会や国際化に対応できる人材、主体的に生きていく人材を育成するため、グローバルリーダーの育成や国際理解教育の推進に取り組んでいる。その中で本事業に参加した教育関係者の国際協力に対する意識の変化が生徒や学校全体のグローバル化につながっている。